

青山同窓会報

《発行所》

青山同窓会

〒951-8127 新潟市中央区関屋下川原町2-635

新潟県立新潟高等学校内

TEL 025-266-5268

FAX 025-266-5268

《編集・発行人》

敦井 榮一

《印刷所》

株式会社第一印刷所

〒950-8724 新潟市中央区和合町2-4-18

TEL 025-285-7161

FAX 025-282-1776

新年のご挨拶

青山同窓会会長

敦井 榮一 (69回)

61卒



明けましておめでとうございます。

青山同窓会会員の皆様におかれましては、平成最後の新春を健やかに過ごしたことお喜び申し上げます。

さて、昨年7月に開催した同窓会総会の前日に、母校野球部が県下無敵を誇っていた日本文理高校に勝利して準々決勝に進出したことで、悲願の甲子園大会初出場の可能性が一気に高まり、同窓会総会ではその話題でもちきりでした。結果とし

て、翌朝の準々決勝で新発田高校に惜敗し、野球部の甲子園出場は叶わず、残念ながら捕らぬ狸の皮算用に終わりました。その後、同窓会として現役生の活躍を支援する取り組みを続けて参りたいと考え「がんばれ青山」という口座を開設しました。詳細は本会報の5面に記載してありますので、是非とも趣旨にご賛同を賜り、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

青山同窓会の会員諸氏は多士済々で学術、文化、政治、経済、医学をはじめとする各方面で活躍されています。同窓会ではこれまで各界で活躍された同窓生から学術講演会において講演していただいたり、同窓会報の「同窓生訪問」の紙面を通じて活躍されている方々のインタビュー記事掲載して参りました。

た。今後も同窓会活動を活発にしていくなために、各方面において活躍されている方々を、同窓会報の「同窓生訪問」で紹介して内容を充実し、会報をより魅力あるものとしていくためにも同期や部活動の先輩や後輩でその道を極めていらっしゃる方がおられましたら、自薦、他薦を問わず同窓会事務局までお気軽にお知らせください。

今年の同窓会新年会は2月15日金曜日の18時半からホテルイタリア軒で、同窓会総会は7月12日金曜日の18時からANAクラウンプラザホテル新潟でそれぞれ予定されています。今から予定をお差し繰りいただき、お誘いあわせの上お集まりください。本年が同窓生各位お一人お一人に取りまして、より良き年となりますようお祈り申し上げます。ご挨拶いたします。

青山同窓会新年会のお知らせ

青山同窓会会長 敦井 榮一

明けましておめでとうございます。恒例の青山同窓会の新年会を開催いたします。

普段会えない方々と大いに歓談して頂きたいと思います。

開催要領は右記のとおりです。各期幹事の皆様からも同期の方々に連絡をしていただきたくお願い申し上げます。また参加を希望される方はお誘い合わせて事務局までご一報ください。

青山同窓会事務局：

TEL / FAX 025 - 266 - 5268

青山同窓会電子メール アドレス

niigata_aoyama@yahoo.co.jp

記

日 時 平成31年 2月15日(金)

受付 午後6時

《生徒の吹奏楽の演奏はありません》

開宴 午後6時30分

会 場 ホテルイタリア軒

TEL 025-224-5111

会 費 当日、会場受付で納入ください

卒業6年以上(121回から上・通信制)、旧職員6,000円

卒業5年まで(122回から126回まで) 3,000円

申し込み締め切り 平成31年2月8日(金)



「住んでよし、訪れてよしの 新潟県」を目指して

新潟県知事 花角 英世 (85回) 77卒



生きがいを持ち、生き生きと暮らせる環境、もしもの時に備えた医療・福祉の充実に努めてまわりたいと思います。

青山同窓会の皆様、新年明けましておめでとうございます。
昨年6月、県民の皆様の御信任を頂いて、新潟県知事に就任しました。私は、多くの県民が、新潟に住んでいることを誇りに思い、これからも住み続けたいと思える新潟県、そして、多くの国内外の方々が新潟に魅力を感じ、訪ねてきていただける新潟県、そうした「住んでよし、訪れてよしの新潟県」を目指してまいりたいと考えております。

そのため、まず第一に、安全に安心して暮らせる新潟県を目指します。昨年は自然災害が相次ぎ、全国各地に甚大な被害が生じましたが、災害に強い県土づくり、治安の確保など、安心して暮らせる地域社会づくりが第一であると思います。

さらに、子どもを安心して生み育てられ、お年寄りの方々が

年頭のご挨拶

参議院議員(全国比例区) 佐藤 信秋 (74回) 66卒



明けましておめでとうございます。会員の皆様には、御健勝でご活躍のことと存じます。袖すり合うも多生の縁、と言いますが、ふる里を同じくし、歴史と伝統ある高校に学んだ同志は、また格別、という親しみが湧き易いものですね。

昨年6月10日には、青山同窓会85回卒の花角英世新知事が誕生致しました。多くの皆様に大変なご支援を頂いたことを、私からも心から御礼申し上げます。何しろ激戦でした。当日も

世論調査では、いろいろなデータがあり、最後までギリギリの情勢でした。本人も、「途中で心が折れそうになりました」と、祝勝の会で述べている程でした。そういう点では、篠田前市長を始め、同窓の皆様のお力添えが、花角知事を支えてくれたものと思います。住んでよし、訪れてよし、の

新春のご挨拶

衆議院議員 鷲尾 英一郎 (103回) 95卒



新年あけましておめでとうございます。青山同窓会の皆様におかれましては、日々益々清祥の段お慶び申し上げます。本年も何卒宜しくお願い申し上げます。

昨年、大型選挙はないと思っていきましたが、女性スキャンダルで米山新潟県知事が辞任したのち、幸い、わが母校出身の花角知事が当選されたことは新潟県民にとって素晴らしい選択であり、その後の県庁職員の落ち着きぶりを聞くにつけ、今後の県の発展に期待が持てるというもの。その後、4期16年市長をお勤めになられた篠田市長が引退されるなか、新人4候補が立候補する激しい市長選挙が行われました。中原新市長が誕生しましたが、県、市うまく連携して地盤沈下の激しい新潟市を甦らせてほしいと願っています。

自身5期目の任期において

は、財務金融委員として職責を果たすとともに、地元活動に邁進しております。地元活動というのは、回れば回るほど仕事が増え重なるので、今後、国政での仕事が増える際に、地元がおろそかにならぬよう、今こそしっかりとした仕組みをつくる時との思いで活動しております。初心を忘れず、感謝の気持ちで、地元のため国家のため邁進する所存です。

さて、今年は春に統一地方選挙、5月に天皇陛下のご譲位、改元、夏に参議院選挙、秋に消費税増税と騒がしい年になります。安倍政権は憲法改正を宿願としており、いつ発議するかがこれに絡みます。来年の参院選の改選議席は圧倒的に自民党が多いため、参院選の前に発議を行う可能性すら考えられます。その場合かなりの混乱が予想されます。

混沌の時代ですが、国家の北極星を見失わず、時代に相応しい社会に向け全力を傾注することをお約束し、平成31年が青山同窓会の皆様にとって素晴らしい年になります様祈念し、新年のご挨拶といたします。

「新元号元年も丈夫魂で」

衆議院議員

石崎 徹 (110 回) 02 卒



青山同窓会の皆様、明けましておめでとうございます。

昨年の新潟県知事選では本校 OB の花角英世知事が誕生し、新潟県政においても丈夫精神が吹き込まれる一年となりました。国政・県政において、日頃より、青山同窓会の皆様より温かいご支援また厳しいご指導を賜り、心より御礼申し上げます。

110 回卒の私も、新たに自民党厚生労働部会長代理に就任し、また衆議院所属委員会は、NHK テレビ中継でお馴染みの予算委員会委員、財務金融委員会委員、経済産業委員会委員、拉致特別委員会理事を拝命しました。

厚生労働部会では、小泉進次郎厚生労働会長のもと、厚生労働分野政策に懸命に邁進しております。人生 100 年時代を見据えた社会保障改革が喫緊の最

重要政策課題の一つです。決して、短期的で狭い視野に留まることなく、我が国の社会保障政策全般について多くの議論を行い、政府に対して適切な提言をしていきたいと思っています。本部会の初仕事として、外国人労働者への社会保障制度の適切な運用を求める厚生労働部会の決議を提出しました。

今後も、小泉進次郎部会長と共に、年金・介護・医療・子育て・労働分野など幅広い分野に跨る持続可能な社会保障制度の構築に向けて尽力して参ります。

昨年の予算委員会では、与党若手議員としては珍しく質問させて頂く機会を得ました。昨年 1 月の新潟県内を含めた全国的な大雪の影響を受けたセンタ―試験に関連して、「受験時期の 1 月より前の早期実施」と世界的には常識的な「年複数回実施・CBT 形式」実現について安倍総理に質問し、非常に前向きな答弁を頂きました。

1 月は大雪のみならず、インフルエンザなどの感染症が最も発生する時期であります。OB・OG の皆さまも共通一次試験・

センタ―試験時に自らの努力に関わらない、日本海側特有の「不利な環境」に嗅いだ経験もあることでしょうか。現役の後輩達も同じ境遇です。

国会質問後、「受験生を応援する議員連盟」を立ち上げ、文科大臣へ提言の申し入れを行いました。大学入試の受験機会を早期化・複数回化・CBT 化の実現に向けて動き出したところでございます。本年も引き続き、本校の受験生を精一杯応援させていただきます。

同窓会総会報告

平成 30 年青山同窓会総会

北見 直子 (115 回) 07 卒

平成 30 年青山同窓会総会が、昨年 7 月 20 日(金)に ANA クラウンプラザホテル新潟にて開催されました。敦井榮一会長(69 回)の開会の挨拶に始まり、飯田昭男校長から学校の現況についてお話をいただきました。文武両道を体現する生徒たちの活躍に、先輩方も誇らしく感じられたことでしょうか。次に、池一東京青山同窓会副会長(74 回)、笹川稔郎東北青山同窓会副会長(82 回)から、それぞれの活動についてご報告がありました。

議事は、敦井会長のもと進行し、①平成 29 年度会務報告及び決算について、②平成 30 年度会務計画及び予算について、いずれも承認されました。その後、パリ在住のソプラノ歌手今井あいさん(105 回)によるミニコンサートが開かれ、出席者はその美しいのびやかな歌声に聴き入っていました。

懇親会は、村山朋彦さん(95 回)の司会でスタート。ご来賓挨拶として篠田昭さん(75 回)からお話をいただきました。続いて古俣慎吾さん(72 回)の指揮のもと、校歌斉唱。新旧校歌が会場いっぱいに響き渡りました。福田勝之副会長(82 回)の乾杯の挨拶で懇親会が幕を開け、美味しいお酒・料理とともに再会を喜ぶ楽しい様子があちこちで見られました。最多出席表彰は、82 回の皆さんでした。

終盤には、昨夏の新潟県予選での現役野球部の活躍を祝し、野球部 OB の皆さんが壇上へ。出席者約 400 名で丈夫を斉唱し、吉田至夫副会長(79 回)の万歳三唱で、平成最後にあふさわしい、素晴らしい懇親会が締めくくられました。

私は今回初めて総会・懇親会に出席しました。懐かしい友人との再会、そして世代を超えた新たな出会いがあり、普段なかなかお目にかかれない先輩方とも、一緒に丈夫を歌い、貴重な時間を過ごすことができました。縁あって会報編集委員を務めることとなり、こうして新たな交友関係を築けることを嬉しく思います。今後、同窓の皆さんにさまざまな情報をお届けできるよう、邁進する所存です。



青山同窓会総会のお知らせ — 予定 —

日時：2019 年 7 月 12 日 (金)
午後 6 時～ 総会
午後 6 時 30 分～ 懇親会
会場：ANA クラウンプラザホテル新潟

平成 29 年度青山同窓会収支決算書

(自 平成 29 年 4 月 1 日 至 平成 30 年 3 月 31 日) (単位: 円)

科 目	予算額	決算額	差 異	備 考
前 期 繰 越 金	2,023,227	2,023,227	0	前年度繰越金
I 収入の部				
入 会 金 収 入	731,000	725,400	5,600	1 年生 1 人 800 円×363 人 2・3 年生 1 人 600 円×725 人
会 費 収 入	6,000,000	6,203,130	△ 203,130	同窓会年会費 1 口 1,000 円
総 会 収 入	3,000,000	2,319,050	680,950	
新 年 会 収 入	660,000	600,000	60,000	
雑 収 入	1,000	143,269	△ 142,269	67 回寄附金 100,000 円 校歌・応援歌 CD、校章パッチ代金、名簿 代金、青山百二十年史、預金利子
当期収入合計	10,392,000	9,990,849	401,151	
合 計	12,415,227	12,014,076	401,151	
II 支出の部				
総 会 費	3,000,000	2,139,169	860,831	
新 年 会 費	660,000	496,000	164,000	
人 件 費	1,140,000	1,135,740	4,260	職員 1 人給料、交通費
通 信 費	1,600,000	1,505,538	94,462	会報、総会案内、各期幹事会案内発 送料金、振替料負担金、電話料金
印 刷 費	500,000	420,323	79,677	封筒、振替用紙、総会案内状、はがき印刷代
慶 弔 費	100,000	71,816	28,184	離任職員饗別、香華料
広 報 費	1,200,000	1,223,637	△ 23,637	年 2 回発行会報印刷代、学校案内掲載広告代 ホームページ契約料、会報バックナンバー製本
会 議 費	600,000	467,192	132,808	
旅 費	600,000	299,240	300,760	
卒業生記念品費	300,000	269,568	30,432	
補 助 費	910,000	760,000	150,000	東京同窓会補助 100,000、東北青山同窓会 100,000、 クラブ O B 会補助、青陵祭補助、学校行事補助
母 校 支 援 費	20,000	42,224	△ 22,224	卒業生連絡ハガキ、情報保護シール
退職積立預金	100,000	100,000	0	
諸 費	250,000	234,066	15,934	光熱水費、消耗品費
予 備 費	1,435,227	0	1,435,227	
当期支出合計	12,415,227	9,164,513	3,250,714	
当期収支差額	△ 2,023,227	826,336	△ 2,849,563	
次 期 繰 越 金	0	2,849,563	△ 2,849,563	
合 計	12,415,227	12,014,076	401,151	

平成 30 年 4 月 5 日 上記の通り相違ないことを確認します。 監事 富山 修一

監事 遠見 和宏

監事 若槻 良史

平成 30 年度青山同窓会会務計画

平成 30 年 7 月 20 日(金) 総会 平成 31 年 2 月 15 日(金) 新年会

平成 30 年度青山同窓会収支予算書

(自 平成 30 年 4 月 1 日 至 平成 31 年 3 月 31 日) (単位: 円)

科 目	本年度予算額	前年度予算額	増減	備 考
繰 越 金	2,849,563	2,023,227	826,336	前年度繰越金
入 会 金 収 入	726,000	731,000	△ 5,000	1 年生 1 人 800 円×366 人 2・3 年生 1 人 600 円×722 人
会 費 収 入	6,000,000	6,000,000	0	同窓会年会費 1 口 1,000 円
総 会 収 入	3,000,000	3,000,000	0	1 人 6,000 円×500 人
新 年 会 収 入	660,000	660,000	0	1 人 6,000 円×110 人
雑 収 入	1,000	1,000	0	預金利子
収 入 合 計	10,387,000	10,392,000	△ 5,000	
合 計	13,236,563	12,415,227	821,336	

支出の部 (単位: 円)

科 目	本年度予算額	前年度予算額	増減	備 考
総 会 費	3,000,000	3,000,000	0	
新 年 会 費	660,000	660,000	0	
人 件 費	1,140,000	1,140,000	0	職員 1 人給料、交通費
通 信 費	1,600,000	1,600,000	0	会報発送、総会、役員会案内郵便料金 振替料負担金、電話料金
印 刷 費	500,000	500,000	0	封筒、振替用紙、案内状印刷代、 データメンテナンス代
慶 弔 費	100,000	100,000	0	慶弔電報、香華料、離任職員饗別
広 報 費	1,200,000	1,200,000	0	年 2 回発行会報印刷代、 学校案内掲載広告代、ホームページ契約料
会 議 費	600,000	600,000	0	
旅 費	600,000	600,000	0	東京、関西、東北同窓会総会出席旅費
卒業生記念品費	300,000	300,000	0	
補 助 費	910,000	910,000	0	東京同窓会補助 100,000、関西同窓会 補助 100,000、東北同窓会補助 100,000、 通信制部会 50,000、クラブ O B 会補助、 青陵祭補助、学校行事補助
母 校 支 援 費	20,000	20,000	0	卒業生連絡はがき代
退職積立預金	100,000	100,000	0	
諸 費	250,000	250,000	0	光熱水費、消耗品費
予 備 費	2,256,563	1,435,227	821,336	
合 計	13,236,563	12,415,227	821,336	

第 8 回東北青山同窓会

小池 修治 (85 回)

77 卒

東北 6 県在住の卒業生を中心として発足された東北青山同窓会の第 8 回総会・懇親会が 9 月 29 日(土)に仙台市の江陽グラウンドホテルで開催されました。ご来賓として敦井榮一会長(69 回)ならびに吉田徳治幹事長(83 回)にご出席いただき、総勢 35 名の同窓生が集いました。最初に総会を行い収支決算の承認と監査報告、収支予算の承認が行われた後、敦井榮一會長のご挨拶と 6 月に新潟県知事に当選された花角英世君 85 回(私と同期)からの祝辞の代読、ならびに吉田徳治幹事長から、同窓会の現況、現役在校生の現況および進路状況等について飯田昭男校長からの報告の代読をいただきました。特に夏の甲子園予選で母校野球部が強豪日本新潟文理高校を破り、初の甲子園出場と盛り上がりつつある、新発田高校に敗れてしまったことには参加者一同ため息がもれました。

その後毎年恒例となった各方面で活躍されている O B O G からの講演は、フリーアナウンサーとして仙台で活動されている高山香織さん(107 回)から「未

来のためにアナウンサーとしてできること」東日本大震災から始まった「コト」というタイトルで講演いただきました。結婚を機に名古屋から仙台へ移り住み 2011 年の東日本大震災を経験され、アナウンサーとしてまた親として、被災された子供と親への支援からはじまり、被災地の地域興しへと活動を発展させていった経緯をお話いただきました。

震災後進む人口の流出や高齢化の問題、ハードは復興しているように見えても人の心が復興しないと本当の復興にはならないというところを、間近に震災を経験した人間として改めて認識させられました。

その後懇親会へと進み加藤博会長(75 回)のご挨拶か



らスタートし、アルコールが入るとともに先輩・後輩の分け隔て無く在校当時の新潟の話題や自身の仕事の話題で盛り上がりました。母校では今や女子生徒数が男子生徒数を上回るとの現況に、やもめクラス出身の男たちはため息が…。デザートをいただいた後にこれも恒例の校歌・応援歌斉唱となり、不肖私が応援のリードをして「丈夫」を全員で熱唱。最後に塩田淳子副会長(83 回)の一本締めで開きとなりました。

～応援募金についてご案内～

何卒、「がんばれ青山」へのご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

TEL/FAX 025-266-5268 メール niigata_aoyama@yahoo.co.jp

『青山百二十年史』書籍(CD-ROM付き)	10,000円(送料・振込手数料別途)
創立百二十年周年記念式典DVD	2,500円(送料・振込手数料別途)
『青山同窓会 百二十年名簿』	5,000円(送料・振込手数料込み)
校歌・応援歌CD	1,000円(送料・振込手数料別途)

同窓生訪問

若山裕伸さん(101回) '93卒を訪ねて

会報編集委員 金井 利郎 (92回) '84卒
渡邊 三枝 (92回) '84卒



秋の深まる夕暮れ、若山さんの経営するカフェを訪ねた。カフェは新潟市美術館の一隅にあり、県産小麦粉・天然酵母のベーグルで有名な人気店である。卵・乳製品不使用のメニューが特徴で、アレルギーのある方も安心して楽しめる。昨年、クラウドファンディングで資金を集め、食品表示(多言語対応)からアレルギーを見つけ出すアプリを開発中である。

彼の中にキラリと光るリーダーの素質を見抜き、級長に指名。「えっ俺?」という感じで、その流れで青陵祭連合長・バスケット部長の大役を果たす。バスケットはベスト4まで進出。大人になった今、もっとバスケットをすればよかったと後悔があるほどバスケット愛は深い。ただ、お勉強の想い出は無いようだ。

その後、若山さんは、早稲田大学人間科学部に進学、卒業後

アミューズメント系の大手に就職。勤務地が新潟で、22歳でUターン。数年後、会社の経営悪化を機に独立、友人とカフェを開く。高校時代の無口な印象を抱く友人が、彼の「笑顔で愛想の良い接客」を見るに、冷やかしがてらこぞって来店し、経営は軌道に乗った。丈夫の絆がそこにあった。

その彼が何故にアレルギー発見アプリを? それは、息子さんに食物アレルギーがあり、普段の食事でも外食にも注意を払わないと苦しめてしまう事に起因する。最近、アレルギーのある

る子供が増えているが、まだまだ社会的な認知・対応はできていない。若山さんは、そんなマイノリティの存在に気づいて配慮して貰える様、社会に発信する意味でもクラウドファンディングという手段をとった。

やはり同じ悩みを抱える人々の支持を得、成立。現在、開発中。まずは日本語版をリリースし、後に多言語に対応を計画。海外渡航先での食品選びのストレス軽減やインバウンド需要にも役立つような優れたもので、完成が期待される。

若山さんから在校生へのメッセージ。先々を考えても仕方ないので、今を大切に。好きなことを、それがくだらないことだとしても、一所懸命にやれば、成熟した時にいろいろな点が線になり面になり立体になって新しいことを生み出せることに気づくから。

優しさを帯びて語る言葉、穏やかな物腰、気負いのない雰囲気、人を纏う人ではあるが、その奥には確固たる信念と熱を感じる。最愛の者を守るため・楽しく生きてもらうため始まった社会起業家の旅は、幸せの小さな種を蒔きながら続くのでしよう。花咲か爺さんの様に。素敵な青山健児でした。深謝

(渡邊記)

同期会報告

第15回青山68回作品展を振り返って

西原 徹 (68回) '60卒

青山68回作品展は新潟市立美術館にて11月21日から25日の日程で開催されました。この作品展も回を重ねること15回目を迎えることになりました。数年前からピリオドを打とうかという声が出る一方で折角こまめな続けてきたのだから今回もやろうよという声の方が大きく開催することになりました。

今回の目玉は各自作品の他に77才の自画像を添えて望もうという田中宣男君の発案で、その主旨は東京芸大の卒業記念作品展を見学した際これは芸大の伝統で自作品の他に自画像も出品

していたということでは面白い試みだからそれを真似て各自自画像に挑戦してみました。当初はどうしても描けないから勘弁してくれと言いつつも描いたがそこは田中君の厳命で描けなかったら写真をパソコンで細工してでも何とか出せということ各自苦労して提出した人もいましたがいざオープンしてみると描けない人もそれなりに、中には孫に描かせた人もいました。それはそれと微笑ましく、概して自画像は好評だったようでした。

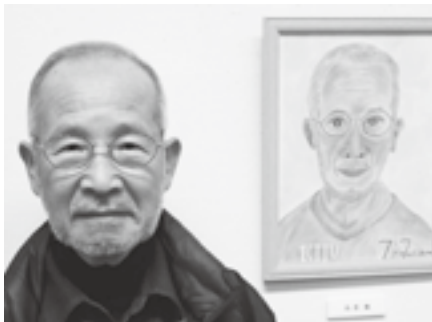
本人が作品と並ぶとそのそつくりさに何故か笑い止まらない人も出る始末でした。そしていつも見に来て下さる喫茶「涼蔵」のご主人が「面白いから自分の店で自画像だけの展示をしませんか」ということでトントンと話が進んで12月12日から年末まで展示することになりました。

喜寿を祝い鍋茶屋に49人

塩沢 拓夫 (69回) '61卒

喜寿を迎えたわが69回は、2018年10月22日(月)の昼、古町の老舗料亭鍋茶屋に、同期生の敦井榮一同窓会長を筆頭に49人が集まり、10人もの芸妓連の踊りとお酌付きという超豪華版の最終回同期会を行った。

もともと69回は仲が良く、ア





実際、厄年だった1983年の新潟まつり花火大会には、1人1万円ずつを出し合い、69期生有志として、30数万円規模の厄払い大スターマインを華々しく打ち揚げた（こんな片貝花火方式が今も可能かは知らない）が、これも常連組の奔走で実現したことだった。

そのうちに、今度は幹事をきっちり決め、全員に往復はがきで案内状を出す正式な同期会をやるという機運が高まり、卒業25周年の86年10月、湯沢温泉で約60人プラス恩師7人の参加で第1回を実施した。以後ほぼ5年ごとに、湯沢、軽井沢、新潟、月岡と場所を変えながら

計7回続けてきた。

だが、4回続けた湯沢でも、軽井沢へ遠征しても、毎回40人を上回っていた参加者が、2015年の月岡は23人にとどまった。危機感を持った幹事団は、策を巡らせた。

喜寿祝いを兼ねた18年の第8回を最終回とし、「最後」を強調する。あの鍋茶屋を会場とする。芸妓連の踊り付きでも、平日の昼なら格安。「1度も入ったことがない」「1度も観たことがない」は結構多い。県外勢をターゲットに、10月21日（日）の青山ゴルフコンペに日程を合わせ、翌22日（月）開催とする。昼なら女性陣が参加しやすい（実際に10人が参加）。東京から日帰り可能の設定にする（県外勢の参加は16人）等々。細工は流々。あとは幹事による脅し―「出ないと死んだと思われるよ」。結果は、それより少ないと芸妓の花代分が厳しくなるという40人を、めでたくオーバーした。

いかにも新潟モンらしい閉め方が出来た、と言っても言い過ぎにはなるまい。先駆け期から第1回までの実質的な幹事役だった故村山郁夫君と、第2回以降の代表幹事で、とりわけ最終回は格別の力を発揮した石本隆太郎君に、ただただ感謝。

青山70回同期会開催

小川 瑞枝（70回）

62卒



2年ごとに開催の同期会を平成30年10月28日に行いました。会場はホテルイタリア軒、今回は午後1時からの開催。参加者は56名で、開宴に先立って記念撮影。司会をC組の斎藤忠正さんが務めてくれ、スムーズに会は進行。まず、G組の伊藤善允

会長の開会挨拶。次いで、前回の同期会後に逝去された宮地正樹、滝沢強一両先生、同期の6名の方々へ黙祷を捧げました。その後、H組の小玉元彦さんの指揮のもとで校歌斉唱。乾杯の音頭をアメリカから駆け付けてくれたH組の浅川洋一さんにお願ひし、開宴となりました。

宴の冒頭に松浪清先生からの手紙がH組の田中信さんの朗読により披露されました。便箋6枚にわたり、先生の近況や心情が綴られ、98歳になられたとは思われぬ文面に感動しました。歓談の進む中、司会者の指名により、16名からの近況報告があり、時々、「ホー」という声がテーブル席から起こりました。宴も優に予定の2時間を超え、一次会の締めめにE組の金子健三さんと村田紀夫さんが応援歌「丈夫」をリードしてくれ、会場も割れんばかりの美声が響き渡りました。私が入学したばかりのころ、先輩応援団の特訓を受け、「ねーら、まだ覚えねんだか！」と叱声を浴びたことを思い出しながら歌いあげました。二次会場は同じホテルの12階



青山第81回卒業生45周年の集い

（1組）吉谷

克雄（81回）

73卒

へ。A組の笠原大仙さんの用意してくれた5曲の横文字の歌詞カード（You Are My Sunshine等）を手に笠原さんのギター演奏をバックに全員で歌い、ほろ酔い気分。そして、いくつかのテーブルの間を浮遊している間に、またまた予定の2時間を

超え、村田紀夫さんによる三本締めで散会となりました。あちこちに別れを惜しむ声と再会を期す声がある中、会場をあとにしました。

「学び舎を共にし今宵集い寄る 同期の縁の絆強しも」

平成30年9月15日（土）ANAクラウンプラザホテル新潟において青山第81回卒業生45周年の集いが行われた。昭和48年3月新潟高校卒業の第81期生は、平成5年の卒業20周年から5年ごとに同期会を行い今回は6回目の定期会になるが、平成26年11月に行形亭で行った選考を祝う会を含めると7回目となった。1組から10組までの各クラスから計34人の呼びかけ人の方々の御尽力のおかげで今回も2組担任・野坂泰司先生、3組担任・目黒俊雄先生、7組担任・三浦隆先生はじめ同期生91名の出席のもとに盛大に行われた。各クラス幹事により席までアテンドされた先生方のお顔は、嬉しさと懐かしさがいっぱいに溢れていた。最初に前回からの

間に亡くなられた恩師、同期生の方々に黙とうを捧げたあと、前回のビンゴ大会で1等賞金の副賞として幹事クラスとなった1組代表霜島雅徳氏の開会の挨拶、三浦隆先生の乾杯の音頭で始まった。

制限時間厳守で始まった自己紹介十近況報告はいつものごとく時間がかり司会の新潟テレビ21の大西遥香アナウンサーは大いに困った様子であった。先生方からも御挨拶をいただき、高校時代と変わらぬ語り口に聞き入った。久しぶりの旧友との会話の中に高校時代以来記憶の底にあった懐かしい思い出が蘇る場面も多々あった。4組中川

兼人氏の音頭で恒例の「丈夫」大合唱であつという間の一次会であった。

二次会は同ホテル16Fに場所を移して行われたが、参加費追加徴収にも関わらず81名(89%)と多くの同期生に参加していた。だき、再び大いに盛り上がった。二次会の最後に幹事未経験の7クラス代表の勝ち残りじゃんけん大会で三度盛り上がり、勝ち残った砂田徹也氏の9組が次回同期会幹事としての栄誉(?!?)を手にして5年後の再会を約束して大盛況のうちに終了した。今回も飲み足りない、話足りない大勢の有志が三次会に繰り出して、新潟の活性化に協力した。

85回同期会「還暦を祝う会」開催

小松原雅之 (85回)

77卒

平成30年7月7日(土)にANAクラウンプラザホテル新潟で、卒業85回卒業同期による「還暦を祝う会」を開催しました。当日は、恩師の先生7名を含む96名に参加いただき、楽しいひと時を過ごしました。会の3時間前には、白山神社に還暦の厄年の厄払いのお祓いに行き、この日のために手作りで準備したお賽銭を清めていただき、会の

中でその清められたお賽銭を全員に配って、第二の人生のスタートを祝いました。ご来賓の先生の挨拶は、長くなることが予想されたので、当時我が学年の唯一担任・副担任ではなかった大湊先生に代表でしていただきました。受験直前の政経の授業を受け持たれたのですが、国立理系のクラスにもかかわらず、誰一人休むことなく、誰一

人内職をすることなく授業が進められたことに先生は驚き、その理由が、担任の石崎先生の男を下げるわけにはいかないということに拍手喝采でした。その後乾杯の後、卒業後40年間に開催された同期会をまとめたものと花角くん県知事当選のニュースを盛り込んだ40分の大作映像を楽しみ、パフォーマンズ付き丈夫斉唱と万歳三唱で一次会を閉めました。その後同ホテルの最上階の宴会場で二次会が行われ、7割の人が参加し、二次会

も盛況のうちに終了しました。「還暦」ということで、若干お料理のグレードも上げたのですが、毎度変わらず「食」より「話」のようで、いつもと変わらずかなり残っていました。また、年齢を重ねると音の聞こえも悪くなるのか会話の音が大きく、会場内のBGMが全く聞こえないほど「五月蠅い」会でした。この

あと、「飲み足りない」のでなく「話し足りない」ということで、三次会は、古町十の「喜ぐち」に30名が集まり、ここでもエンドレスで話が進んでいきそうな雰囲気だったのですが、そこは60歳。気持ちは若い、体は結構年寄りというところで、きつちりと三本締めで「還暦を祝う会」全編終了ということになりました。

青山89回同期会報告

大野

宏 (89回)

81卒

平成30年8月11日の山の日に89期の同期会を新潟市のホテル日航新潟で開催しました。皆が50歳になった平成24年の10月に1回目、平成26年の8月に2回目的の同期会を開催し、今回は3

回目的開催となりました。お盆休みと祝日が重なり、初参加者の多い会となりました。毎回、一番遠くから参加する方からスピーチをしてもらっています。今回は米国シカゴ郊外に在住の田中ゆき子さんから現地での暮らしや高校時代の思い出話をしてもらい、皆、高校生に戻ったような雰囲気になりました。また、目黒先生、野坂先生、三浦先生、柳下先生からお言葉をいただきました。参加者の半数以上が県外に住んでいることもあり、懐かしい学校町通りの風景や今年の青陵祭、夏の高校野球の県大会で野球部が優勝候補の日本文理高校に勝った試合の最後のシーンなどを映

像にして流しました。ゲームセットの瞬間は皆が拍手をし、実況アナウンサーが、「大番狂わせです」と言った瞬間は笑いが起きました。残念ながら次の試合に接戦で敗れ甲子園出場とはなりませんでしたが、来年も期待できる試合内容でした。また、ここ数年は女生徒の部活が盛んで、弓道部、フェンシング部、ボート部の女子が団体でインターハイに出場したことが紹介されました。

当日は、夕方までラグビー部のOB会の親善試合が開催されており、ラグビー部員の参加が多かったです。女性の参加も多く、会場のあちこちで高校時代の楽しかった出来事や恋愛話に花が咲きました。

最後に、松井君から閉会の挨拶をいただき、ラグビー部の部長で新潟高校ラグビー部監督も務めた灰野君の音頭で大丈夫を歌い、二次会へと向かいました。次は還暦の年に同期会を予定していますので、皆さん体に気をつけてお会いしましょう。また、同期のFacebookのグループを立ち上げ、新潟や東京でミニ同期会を開催していきますので、こちらにも是非参加してください。



なぜ青山90期同窓会にこれほど人が集まるのか？

佐藤雄一郎 (90回) 82卒

致命の祝いからはや5年、天から自分に与えられた使命を内に秘めた同窓生が続々と第4回新潟高校90期同窓会会場に入場する。ここは新潟市万代のシルバーホテル、5年間の準備を終えて会の始まりを待つレセプション会場、窓の外には七色のタワー、これって小学校のころ

からあったなあ、。取り壊されるんだっけ？どうやって撤去するのかとひとり言。こまめくれば仲間を待つ楽しみばかり。大船に乗る？流れに身をまかせる？私のような頼りない幹事長を、がっちりスクラム組んで支えてくれた仲間に感謝、感謝、感謝。



恩師は5人の先生方がご来場、立川克雄先生、柴野章一郎先生、宮田新太郎先生、赤井田秀光先生、金井芳夫先生、颯爽と入場。割れんばかりの拍手。同窓生は約450人中約4割の156人（男子115人、女子41人）が集う。これを話すとき多くの先輩後輩で驚かない人はいない。同窓会

事務局によると青山同窓会で最大規模と聞く。前回の2013年も同じく160人超え、何が90期に起きているのだろうか？誰も分からないが楽しければそれでいい。

綱島知子さん、渡辺竜助くんの司会でプレイボール。1次会の2次会で場所は変えない、記念の写真はまかせた！本宮嘉弘戦場カメラマン！、前後半のインターバルには渡辺正明くん、歌代幸子さん、穴沢雅明くんのリードでエールと丈夫斉唱を高らかに。2次会は斎藤俊弘くんのウクレレ司会でほっこりと、会の締めくくりに5年後の還暦幹事を儀同政宏くん、バトンを渡してホッと一息。時計を見たら12時半の開宴から何とここまで延々5時間！みんな喋りっぱなしの呑みっぱなし！先生も生徒もみんな元気だなと感心しきり。

世の中では人生100年時代と言われていますが、そうだとすると55歳はまだまだ折り返したばかり。これからは新潟高校90期同窓会を続けるというのを縦糸に、会のためにますます広がる仲間の繋がりは横糸に、それぞれの人生で綺麗な編み物をたくさん紡いでいって欲しいと切に願うものであります。

通信制恩師を囲む会

永井 栄子 (34回) 92卒

平成30年「恩師を囲む会」が、新潟東映ホテルで開催されたのは、まだ昨夏の酷暑を知ることもない6月24日のことでした。空爽やかに晴れ渡り、東映ホテルに向かう足取りも自ずと軽くなるというものです。

と同時に緊張もいささか。しかし、その緊張感は東映ホテル「白鳥の間」の大きなドアを押した瞬間に消えていくのでした。

丸い大テーブルを囲んで座っている皆様が、知っているとかいないとかを飛びこえて、懐かしさでいっぱいになるのでした。優勝だろうと呑気な気持ちで入



でも辛いばかりの4年間ではなかったのです。むしろ、それ以外の全ての出来事が楽しくやり甲斐のある4年間だったのです。

その4年間を共に歩いた仲間と、いつでも優しく支えて下さった先生方への想いが、ドアを開けた瞬間にふわっと沸き上がったのでした。

まだ一度もこの集いに参加していない方は、是非この感情を体験しにいらして下さい。

さて、私が卒業して早や四半世紀。当時の若者は中年に、中年の入口にいた私は公的機関から「高齢者」と呼ばれるようになりまして。そんな中、先生方ってどうしてあんなに若々しいのかしら？と感じました。

OB会報告

関川村合宿とキス釣り

沖野 謙 (80回) 72卒

昨夏も8/4(土)5(日)に恒例の関川村合宿が行われた。前回に引き続き、合宿当日の早朝にキス釣りに出航する旨の連絡を受けた。

船は松木保君(84回)所有のクルーザー、松木船長のもと、沖野(80回)津野徹君(85回)の2名が乗船し、早朝5時過ぎには新潟西港のマリーナを出航！天気は快晴、波も無し潮風を受けながら海上を沖に向かっ



て滑走し実に心地良い。今回は新潟空港沖をポイントとし、到着後、津野君の第一投で形の良いきすがいきなりヒット！今朝は入れ食いか？と思いきやその後が続かない。他の釣り船の様子を見ながら徐々に海岸に近づき釣果も次第に上がりだした。沖野・津野の2名は1年ぶりの釣り人で素人、釣ってる時間より、キスに飲み込まれた針を外したり、絡み合った仕掛けを直したり、時間の方が長かったかもしれない。その都度、船長の手を煩わせながらのキス釣りとなった。

2時間を経過するころには釣果も70尾を越え「これで今夜の宴会には十分ですかね？」と松木船長。帰路の船上からはネクス

追記…合宿最終日には、関川小学校プールで恒例の現役とのリレーを行い、50mのハンディ頂いての1勝2敗。午後からは寿荘の裏庭でバーベキューを行った。今年も高橋好陽氏(77回)からのソーセージや、高井司氏(104回)からのシュークリームの差し入れを頂き、大いに盛り上がった。



平成30年9月1日、青山競技部(陸上部OB・OG会)総会をホテルイタリヤ軒にて開催いたしました。

総会では会長挨拶に続き決算予算及び役員再任の承認を頂きました。

また暑さの名残はありましたが天候にも恵まれ、大変賑やかで楽しい会になりました。



日本ではマイナースポーツの扱いをされてきたバドミントンですが、近年では日本のトップ選手のレベルが上がり、オリンピックでメダルも取れる競技となつているため、高校生の競技人口も増えているようです。

ドラム缶コンロで現役生と一緒に肉を焼き、焼きそばをつくり、それらを食べた後にブルー

青山競技部OB・OG会総会

会長 河合慎次郎(86回)

78卒

青山バドミントンクラブ活動報告

増井 隆二(101回)

93卒

また、学業との両立も立派に成し遂げています。

ともに、OB・OGの親睦を一層深め、さらに発展できるように努力してまいります。

昨年の7月21日に新潟第一ホテルにて総会を行い、恒例行事となつている現役生とOBとのバーベキュー大会を9月16日に西海岸公園で行いました。現役生には学校での練習の後に参加してもらい、現役生27名、顧問の先生方4名とOB16名の総勢47人となりました。前回台風の影響で中止となつたため、OBとの交流を経験しない学年がでてしまわないように今回は是非でも実施したいとの思いが天に届き、降水確率80%の中でも雨にはならず交流ができました。



『ラグビー部創部70周年記念行事』の開催報告

小見

毅 (92回)

'84卒

シートの上で車座になって、OBからの激励の言葉、顧問の先生方からのお話、現役生から代表として男女の主将1人ずつ立派な挨拶を頂き、盛会のうちに終えることができました。

25年以上前に私が現役生の頃、創部40周年の記念事業がありまして、中国から同年代の生徒を招待して頂いて、合同練習会を開催して頂いたこともあり、何かしらクラブに貢献でき

ればという思いで可能な限り行事に参加して、事務局の仕事も手伝わせて頂くようになりました。高校時代に同じ部活に所属したというだけで年代の違う方々となることができるとい

援合めて約90名ものOB・OGのご参加をいただき、現役部員との交流試合やOB同士の試合に、高校生に戻ったような気迫で戦い汗を流しました。

第32回青山体友会の集い

幹事 片桐

靖孝 (68回)

'60卒

また記念講演会は宮尾正彦さん(98回)のご尽力で、東芝ブレイブルーパス・アナリストの濱村裕之氏から、『選択と決断』という演題で講演をいただきました。浜村氏は日本で初めて

今回より新幹事を仰せ付かり、味方繁夫さん(67回)と二人で体友会の集いを計画した。この会を31回迄全て引つ張つて運営されてこられた、名幹事

つもの丸いテーブルを囲む。「数人が体調を崩されて欠席」との報告を聞きながら、乾杯をし、会はスタートした。

立ち、磯部博さんの席へ移動し、カラオケを披露。味方繁夫さんもおハートで参加する。

唯一の海外スーパースターラグビーチームのアナリストを務められた方で、ラグビーというスポーツのみならず、人生の生き方にも通じるとても良い内容でした。現役部員たちにも大変参考

中川弘さん(58回)の足跡を振り返り、そして、心の底に少しの不安を抱えながら、10月21日(日)12時、万代シルバールホテル「柳江苑」にメンバーが集まった。

思いとは裏腹に、とても充実した雰囲気、会が進行し、内容の濃い、体操競技への情熱に溢れる話題等がどんどん飛び出し、昭和の「ウルトラC時代」から、平成の「H難度の技の内

味方繁夫幹事長の提案で、いつもの和やかで温かい雰囲気、体友会の集いは、二次会の向いの珈琲店に場所を変え続けた。今朝から天気は良く、気持ち良い時間を皆が共有した半日が静かに終り、散会する。

去る平成30年8月11日に新潟高校ラグビー部創部70周年記念行事が開催されました。午前中には母校新潟高校グラウンドにてラグビー部現役部員とOBの交流試合、午後からはホテルイタリヤ軒にて記念講演会と記念祝賀会を行いました。

祝賀会においてはご来賓を含めて144名のご参加をいただき、過去最大規模の周年行事となりました。56回卒の藤井泰介先輩から124回卒の村山健二さんまで幅広い年代でご参集いただき、世代を超えた交流ができ、懐かしい同期や先輩後輩との

見馴れた顔の6名(渋谷興司さん(53回)、中川弘さん(58回)、川上忠男さん(59回)、味方繁夫さん(67回)、片桐靖孝(68回)、磯部博さん(73回))は、集合写真を撮ってもらったあと、い

青山バスケットボールクラブ 文武両道の精神

和澄

孝男 (83回)

'75卒

当OB会は、毎年1月3日、新潟において現役との交流試合などを交えながら新年総会を開催している。今年も全国各地で活躍しているOB達がこの会に集った。毎年、現役たちと出席する新年会で思うことがある。

古くは『史記』において「文事ある者は必ず武備あり」との記述があり、文武は一方に偏つてはならないという意味とのこ





と。近世において、徳川家康が文事を奨励したことから「文武両道」という語が広く世に広まることとなったようである。その身分や職業に拘わらず学問を修めることで人としての成長をなすことが社会的風潮でもあつ

たのである。現在、全国の高等学校では勉強と部活動の両立を目標に掲げる学校が多く存在する。新潟高校も「文武両道」を謳う一校であるが、その本意は生き続けているであろうか。あの教育者は、「我々が言うところの文武両道は、文武の両道に励むということであり、何事にも一生懸命取り組むということである。結果として両方の道で良い結果を出せば素晴らしいことだが、両道で好結果を出すことが目的の文武両道ではない」としている。



OBの面々と酒を酌み交わしながら談笑している中で、ふと母校の誇りとして謳われてきた尊い精神である「文武両道」が、青山バスケットボールクラブの後輩たちにも脈々と受け継がれていてほしいものと願わずにはいられない。

青山野球倶楽部活動報告

事務局長 小沢 謙一 (93回)

85卒

野球部OBで組織する青山野球倶楽部の活動は、現役チームの支援と会員の親睦事業の二本柱です。

現役チームの支援として、例年、春には東京遠征費用を援助。また、4年前からは元西武ライオンズの広野功打撃コーチを招聘して打撃向上を図るとともに、夏の大会前に高反発の金属バット5本を贈呈しています。

これらの支援に後輩たちが応え、二回戦の対長岡農高戦で32得点と歴史的な大量得点を記録し、四回戦では県内公式戦33連勝中であつた日本文理高に5-3で勝ち連勝を止めました。しかしながら次戦の準々決勝で新発田高に4-5と惜敗し悲願の甲子園出場はまたもや持ち越したとなりました。

会員の親睦事業は、硬球に触れる機会の提供と親睦ゴルフ大会です。若手OBが参加する県高校OB硬式野球大会が8月11日から12日にかけて開催され、20代を中心に延べ16名が参加し、新潟東高、柏崎高、新潟南高を次々と退け4年ぶりに優勝しました。近年現役チームが良い成績を残していることから、大学生の参加が増えて戦力がアップしています。



一方、高齢OBがメインで参加する新潟商業高との定期戦「青山-葦原戦」は42回をかぞえ、今年新調した揃

いのレプリカユニフォームで14名が参加しました。気温35℃、グラウンドの地表温度が57℃と猛暑を極めた8月15日にエコストで開催。最高齢者は84歳、先発メンバーの平均年齢が68歳の参加者の健康に配慮して4回まで戦い、青山が葦原に8対7でサヨナラ勝ちしました。

また、8月には、現役チームが乗るマイクロバスを十数年ぶりに寄贈しました。購入費用を特別寄付として会員に募った結果、夏の日本文理高戦での勝利や秋の大会においてもベスト8進出と現役チームの活躍が続いたことから、OBの期待の高まりを反映してか寄付は順調に集まりました。

絶対的な強豪校は存在しておらず、本校にも来年夏の甲子園出場のチャンスは大いにある！と信じ、OB会として支援を続けていきます。

青山バレーボールクラブ 総会開催

桑田 耕栄 (88回)

55卒



昨年11月3日、新潟市のラマダホテル新潟で第19回総会が開催されました。総会といっても堅苦しい会議などはなく、2年に一度幅広い世代が集まる交流の場となっています。

今回の参加者は、59回の新川滋さんから108回的小林義之さんまで過去最多51名。遠くは大阪、京都から、また初参加が7名のOGを含めて1/3と新鮮な顔ぶれが揃いました。

総会は伊藤健一さん(86回)の司会進行により、小林政弘代表幹事(62回)の開会宣言で幕を開け、橋本

行雄さん(60回)の挨拶、そして熊谷忍さん(60回)の乾杯の発声により懇親会がスタート。同期生であつても数十年ぶりという方も多く、各テーブルでは思い出話が尽きません。私桑田(88回)も、夏合宿の教室での寝泊まり、松林の中や砂浜でのランニング、また練習中に水を飲む習慣が無かったことなど、仲間達と当時の思い出に浸りました。

その後は各テーブルを代表して、小林義之さん、片桐諭さん(87回)、竹内雅也さん(84回)、浅妻厚さん(76回)、八木稔さん(64回)、そして村岡公夫さん(61回)の各年代ならではのエピソードを交えたスピーチに会場も大盛況。閉会間際には前青山同窓会長の長谷川義明さん(61回)が到着しこれで全員集合。京都から参加の山上浩志さん(89回)のリードによる丈夫の斉唱で会場は最高潮に。閉会は会場を提供して下さった当ホテル会長の小杉秀一さん(61回)による一本締めで。差入れから当日の対応まで有難うございました。

今後の課題としては、メンバーへの連絡体制の整備、首都圏での開催、若手世代の参加率アップ、そして現役世代への支援など山積みです。

過ごした時期は異なるにせよ、「青山バレーボールクラブ」という共通の場を通して様々な世界で活躍する多くの方々と繋がりを持てたことは自分にとっても大きな財産となっています。

この報告に懐かしい名前を見たつた皆さんも参加したことのない方も、次回総会でお会いしましょう。

山岳部OB会「平成30年度現役・OB交流会」

江口 哲央 (98回) 90卒

今年度も現役部員とOB会との交流会を、平成30年10月27日の青山祭にあわせて行いました。現在の部員数は1年生6名、2年生12名、3年生5名とのことですが、前年に引き続き入部希望者が12名もあり、安全上の

配慮から抽選で入部可能者を決めたとのことで、昨今の山歩き人気の高さを体感し少し驚きました。

現役部員、OBの自己紹介の後、前半は活動報告として、今年度の年間の山行をスライドショーで紹介していただきました。今年度は男女そろって県予選を突破し、福井県敦賀市の西方ヶ岳で行われた高校総体北信越大会に出場したとのことでした。男女同時の北信越大会出場は、新潟高校山岳部としては聞いたことがなく、すごい快挙だと感じました。夏合宿は富山県の立山で、天候にも恵まれていた山行になったようですが、近年は日程や登山口までのアクセスなどの理由から、昔のように連泊での縦走登山は難しくなっているようです。また、今後の活動予定として、ボルダリング



ジムでの競技体験も予定しているとのことでした。

後半は現役部員、OBそれぞれからの質問時間ということで、お互いの活動についての情報交換を行い、合唱部や書道部との掛け持ちで催事に参加している部員以外からはほぼ全員参加していただきました。男子部員と女子部員がほぼ半々になるため、とても明るい雰囲気で行っているようですし、近年全国的に起きている部活動中の事故や登山中の遭難事故を踏まえた顧問の先生方の安全管理へのご苦労も感じられました。

最後に青山同窓会からの活動補助金より、現役部員への活動支援金を贈呈しました。また、3年生の部員には「ふくろう60年誌」を贈呈し、OB会への入会手続きについて紹介しました。来年度も交流会を開催する予定です。参加したことのないOB・OGの方々も一度見に来ていただければと思います。

青山墨友会 活動報告

伊豆名 皓美 (113回) 05卒

青山墨友会では、平成30年8月18日、新潟駅前某所にて総会と懇親会を開催しました。会では、佐藤友紀幹事(121回)の采配で出席者全員が近況を報告し、それぞれの学校生活や職場の様子について情報を交換しました。

続いて、現書道部顧問の小川貴史先生より現在の書道部の活動状況などについてお話を聞きました。そして、墨友会としての今後の活動方針や課題について話し合い、有志による青山墨友会書展の第2回展開催への決意も共有しました。

また夏休みには、書道部の合



平成30年度青山柔道部OB会報告

副会長 栗林 仁 (83回) 75卒

一 現役選手の頑張り
オリンピックや世界選手権での活躍で注目を浴びている柔道も他競技と同様に少子化の影響は免れない状況であるが、我が青山柔道部の後輩はその中で毎年県大会において上位に食い込み、北信越大会等に出場し健闘

をしている。OB会として誇りに思うとともに応援をしている。今後とも各OB諸氏から現役支援のための年会費を切にお願いするところである。

二 現役激励会

県総合体育大会を前に関新の中華飯店で選手激励会を開

いた。

三 先輩稽古会

総会に先立って約10人の先輩が母校柔道場に集まり後輩と共に汗をかいた。

四 青山柔道部OB会総会

総会は11月17日(土)6時に開催された。①立川会長の開会の挨拶、②福田幹事の事業・会計報告、③橘川監督の大会成績報告、④激励金贈呈、⑤今年で区切りとなる佐藤信秋東京青山柔道倶楽部会長(74回、東京青山同窓会長、参議院議員)の応援について、割れんばかりの拍手・満場一致で確認、⑥佐藤信秋先輩の挨拶そして⑦奥村先輩の音頭で乾杯、⑧懇親会が始まった。そして、楽しく飲み且つ語った。中締めは「青山の斉唱」で再会を誓った。出席者 奥村紀男(67)、村田紀夫(70)、立川克雄(72会長)、梅田典夫(72)、佐藤成昭、小川もと、佐藤信秋(74)、石田彰(75)、相澤裕吉(78副会長)、広井俊隆、山下義昭(82)、栗林仁(83副会長)、大澤満(84)、伊藤龍哉(85)、橋本伸(86)、須田剛(87)、小林久哉(88)



同好会

青山ゴルフ会報告

青山ゴルフ会事務局 品田 泰(101回) '93卒

平成最後となる青山ゴルフ会が、平成30年10月21日・紫雲ゴルフ倶楽部で開催されました。46回目となる今回は、26名の校友が昼に夜に親交を深めました。

当日は、10月下旬とは思えない暖かき、打球が溶け込んでいくような快晴。言い訳のできない中でのコンペとなりました。

栄えある個人優勝は、上位入賞の常連・79回江花和郎先輩。温厚な人柄を偲ばせる安定の数字で、43回大会以来の優勝です。団体優勝も70&80回台連合チームでしたので、個人団体の2冠達成。おめでとうございました。

春5月・秋10月と、年2回開催している青山ゴルフ会は間もなく50回を迎えます。最近の参加人数は30名前後で、最盛期の約半分(第24回57人)そんな中、火を消すまいと、最近では100回卒以上の参加者が増加、新たな活気が生まれて来ています。113回の大橋未来子さん、121回の西山奈穂さんはその筆頭。61回の長谷川義明会長とは50才60才!の差!がある2人ですが、緊張し

ながらも大先輩方と懇親を深めています。

毎回2組以上で参加頂く69回をはじめ、79回88回、今回新たに団体で参加頂いた90回の皆様のよう、同期が久しぶりに集う場として活用頂いている皆様もいらつしやいます。参加したことがない方は、イメージが沸かず抵抗があるかも知れませんが、青山ゴルフ会は年齢不問、性別不問、上手下手も、ゴルフの好き嫌いも問いません。条件は同窓生であること、その1点のみ。気軽に参加頂ける会です。



特別寄稿

事務局作業は正直大変です。万事行き届かなく、ご迷惑をお掛けすることも多々あります。が、皆様に助けられながら、何とか運営しております。

今春第47回青山ゴルフ会は、

5月18日開催予定。新元号初の大会となります。記念すべき第1号優勝を目指して、皆様のご参加をお待ちしております!事務局・BSN新潟放送内 品田・三浦025(267)4111

幻の「新潟中学 応援歌F」

藤島 嶺樹(53回) '45卒

(一)

空行く雁の羽音にも
脾肉の嘆をかこきぬ
飛べ若人時至る
越路の風を翼に切り

(二)

光は消えぬ闇落ちぬ
輝きそめし灯に
ああ凱旋のかちどきに
酌む甘酒は敵の血

右の応援歌Fの作曲は、旧制第一高等学校寮歌「筑紫の富士に暮れかかる」より採られ、楽譜は青山同窓会事務局に存在する。旧新中にも凱旋歌「強者等」はあるが、応援歌Fは敗北試合の後に歌われた「敗戦歌」である。

53回生は昭和16年4月入学で、日中戦争開戦後4年が過ぎ、12月には日米戦争が開始された。

4月の入学時は何時日米戦争が開始されるかと緊迫した時勢で、時節柄、仮令それが敗者復活を誓うのが主旨の歌であっても「敗戦」はよくないと、歌う事は勿論、教えたり覚えることも53回生から総て禁止となった。更に昭和18年は53回生からは5年制だった修学期間は4年制に変更され昭和20年は4年5年が同時卒業と決った。それどころか戦争の激化で軍需生産の向上のため昭和19年8月に勉学は中止、52回53回生徒約400人余は名古屋愛知航空に勤労動員された。19年12月18日、会社から港灣を隔て4km離れた三重重工に昼間爆撃が集中した。一編隊9機で波状攻撃する89機の爆撃機からは雨霰と降り注ぐ爆弾で爆煙が天地を覆った。その様を見た我々は戦力の甚だしい差に茫然

新潟に響いた歌声の絆

今井 あい (105回) 97卒

となった。足取り重く帰路にいたその時に、前をゆく5年生の隊列から静かな歌声が起って波紋の様に全体に広がった。「これが敗戦歌だ」と私は直感した。凱旋歌も捲土重来を誓う敗戦歌も歌える5年生が私は羨ましくどう仕様もなかった。敗戦歌Fは現実の大戦争の負け戦の中で自然発生的に日本の必勝を誓って歌われた。併し戦争は2度とあつてはならない。

日本は高い識字普及の社会を作りあげた民族独自の誇るべき文化を有している。平和の中にあつてこの文化文明を生かしてこそ日本の未来がある。敗戦歌Fは平和裡の体育競技の世界でのみ歌われることを宿願とし、文化としての平和を永遠に継続させたいと心から希求してやまないものがある。今回敦井会長と事務局の外山さんの御配慮で敗戦歌Fを知ることが出来て、年老いた身に「青春の子の熱血」が蘇ってくるのであつた。

(注) 校内入つてすぐ左側にあつた50cm程の碑は53回生の記念碑です。

ネット社会になつた現在、世界と簡単に繋がるようになって反面、人との繋がりが希薄になつていくように感じます。しかし、会場で聴く生の歌声は、声の振動が体に共鳴し、一体感



さて明治の末頃新潟中学校が

この度私は文芸社から『私のヒストリア 光る波のように』を出版した。同窓会の方々に紹介したいと思つた。それは回想の中で旧制新潟中学校に關することが出てくるからである。私は日本エッセイスト・クラブの会員でもあり、科学研究者として働いたこともある。かつて『天地人』(直江兼継のNHK大河ドラマ放送)の原作者の火坂雅志から私の歴史書を高く評価されたこともある。かれとは青山同窓会の後輩として何度か文通したことがある。

卒寿翁の回想と研究

吉原 賢二 (55回) 47卒

どの映画音楽や、「カチューシャ」、「愛の讃歌」、「マイウェイ」、など往年の名曲、「夢破れ」など、近年話題になつた曲などを揃えたコンサートを予定

してあります。新たな年号での、新たな挑戦、ぜひお見逃しなく！今後とも、応援どうぞよろしくお願いいたします。

そのような私の身近な歴史が面白いと言ってくれる人が多い。さらに私は科学の研究者として働いた。その研究の対象は定年後ひろがった。研究は身近な歴史から古代史にまでどつついた。ご一読頂ければ幸いです。

私のヒストリア

光る波のように

文芸社2018

*蔵書寄贈のお知らせ

河出書房新社より書籍「名門高校100 時代をリードする人物はここから果立つた 猪熊建夫著」を寄贈いただきました事を報告します。書籍は図書館の蔵書とさせていただきます。

(広報委員長 金井利郎)



<平成30年度 新潟高等学校 部活動等結果報告>

陸上競技	【北信越総体】 女子：4×100mR 出場 五十嵐里香・田中 舞・手代木 慶・小幡 玲 【県選抜大会】 男子：4×400mR 第8位 大久保有世・市川 真・長谷川啓太・諸橋 駿矢 女子：ハンマー投 第5位 熊倉 海月 七種競技 第4位 新保 歩 (北信越総体出場)	【全国総体】 女子：舵手付きクォドルブル 出場 間 法佳・森 光希・番場未沙生・金子 実徳・山田真悠子 【新潟県高等学校秋季ボート競技大会】 男子：シングルスカル 2位 阿部 央 (中部選抜出場) ダブルスカル 4位 長郷 巧太・関川 耀介 ダブルスカル 5位 上石 崇斗・羽田 駿介 舵手付きクォドルブル 3位 新井 太基・高井 颯太・井上 拓土・熊倉 奨・大庭 翔平 (中部選抜出場) 女子：舵手付きクォドルブル 2位 曾我日向子・金子 実徳・夏目 佳音・佐藤 珠海・倉又 陽菜 (中部選抜出場)
水泳	【北信越総体】 女子：400m自由形 3位 宮村 風花 (全国総体出場) 女子：800m自由形 7位 宮村 風花 【全国総体】 女子：400m自由形 49位 宮村 風花	空手道 【北信越総体】 女子：団体形 2回戦進出 【全国高等学校空手道選抜大会新潟県予選会】 男子：団体形 3位 保坂 泰良・高橋 優心・中林 基貴 (北信越大会出場) 女子：団体形 2位 本間 千裕・高橋まりあ・片桐 由貴 (北信越大会出場)
バレーボール	【全日本バレーボール高等学校選手権大会新潟県予選会】 男子：新潟1 (25-22、20-25、15-25) 2関根学園	野球 【全国高等学校野球選手権新潟大会】 2回戦 新潟10-3高田 (7回コールド) 3回戦 新潟12-2新井 (5回コールド) 4回戦 新潟5-3日本文理 準々決勝 新潟 4-5新発田 【北信越高等学校野球新潟県大会】 2回戦 新潟6-1新潟商業 3回戦 新潟7-3新発田商業 4回戦 新潟5-0高田 準々決勝 新潟0-5関根学園
バスケットボール	【全国バスケットボール選手権大会2次予選】 男子：2回戦：新潟92-62 十日町 3回戦：新潟63-104長岡高専 (ベスト16) 女子：1回戦：新潟65-49 中越 2回戦：新潟48-72 新発田商業	弓道 【北信越総体】 女子：個人 決勝トーナメント進出 高橋 優菜 団体 決勝トーナメント進出 (ベスト8) 【全国総体】 女子：団体 (ベスト16) 【新潟県弓道選手権大会】 男子：個人 3位 羽賀 終人 (北信越大会出場) 女子：団体 4位
ソフトテニス	【県高等学校選抜ソフトテニス大会1次予選】 男子：団体 予選リーグ 新潟3-0新潟南 新潟3-0新潟北 予選トーナメント 新潟0-2巻 女子：団体 予選リーグ 新潟1-2新潟南 新潟3-0佐渡 予選トーナメント 新潟1-2中越	放送 【NHK杯全国高校放送コンテスト】 創作テレビドラマ部門 準決勝進出・制作奨励賞 「恋のベルはパンと鳴る」 【全国総文祭】 CM部門 審査員特別賞 「日本中の黒曜石はココから! 史跡 星ヶ塔黒曜石原産地遺跡」 【第38回QK杯校内放送コンクール】 アナウンス部門 2位 大浦 麻鈴 (北信越大会・全国大会出場) ラジオ番組部門 1位 「てらこやは想いの場?」 (北信越大会・全国大会出場)
卓球	【県選抜卓球大会】 男子：団体 1回戦 新潟3-1中越 2回戦 新潟1-3上越 女子：団体 2回戦 新潟2-3柏崎常磐 女子：北信越選抜代表決定戦 2回戦進出 加藤 あい (北信越選抜大会出場)	小倉百人一首かるた 【全国総文祭】 団体戦 ベスト12 新潟県チーム (主将：佐藤公亮)
サッカー	【全国高校サッカー選手権新潟県大会】 3回戦 新潟1-0十日町 4回戦 新潟0-3開志学園JSC高等部 (ベスト16)	少林寺拳法 【北信越大会】 男子：単独演武 出場 山本亮介
ラグビー	【全国高校ラグビー新潟県大会】 決勝トーナメント準々決勝 新潟12-41新発田南 (ベスト8)	写真 【県総文祭】 優秀賞：江口 琉、村山はづき 奨励賞：渡部 達弥、古川 涼花 学校賞 4位
柔道	【北信越総体】 男子：個人戦 73kg級 ベスト16 小池 陽 【BSN高等学校柔道選手権大会】 男子：団体戦3人制 1回戦 新潟2-0六日町・高田安塚 2回戦 新潟2-0三条 準決勝 新潟2-1長岡 決勝 新潟1-①新発田農業 (代表戦) (第2位) 個人戦 66kg級 ベスト8 高田 大暉	吹奏楽 【新潟県吹奏楽コンクール】 高等学校Bの部 銀賞 【新潟県アンサンブルコンテスト】 木管八重奏 金賞 金管打楽器八重奏 銀賞
剣道	【北信越総体】 男子：団体 予選リーグ出場	囲碁 【文部科学大臣杯全国高校囲碁選手権大会】 男子：団体戦 5位 五十嵐成也・中村 和・月岡耕太郎 個人戦 ベスト16 中村 和 出場 五十嵐成也 【全国総文祭】 団体戦 12位 中村 和・月岡耕太郎・廣瀬 実咲 男子個人戦 5位 五十嵐成也 【県総文祭】 男子団体戦 1位 五十嵐成也・三浦 崇仁・貝沼 亘 (北信越大会出場) 個人戦Aブロック 1位 五十嵐成也 (北信越大会出場) 2位 三浦 崇仁 (北信越大会出場)
山岳	【北信越総体】 女子：団体 優秀校 (2位)	書道 【国際高校生美術展】 秀作賞 田中 千尋 【全国総文祭】 奨励賞 中山 愛唯 【岐阜女子大学主催全国書道展】 新潟県教育委員会教育長賞 下窪 彩月 書道展賞 樋口未南美 【新潟県競書大会】 新潟大学教育学部部長賞 松田あかり 毎日新聞新潟支局長賞 北原 佳歩 【国際高校生選抜書展】 準大賞 渡邊 早起
テニス	【北信越総体】 女子：シングルス 出場 渡部 結衣 【全国総体】 女子：シングルス 2回戦進出 渡部 結衣 【全国選抜高校テニス大会新潟県大会】 男子：団体 3位 女子：団体 ベスト8	合唱 【全日本合唱コンクール新潟県大会】 銀賞
フェンシング	【北信越総体】 女子：団体 予選プール出場 間 美翔、渡邊万泉佳、小畑 悠、吉村 優里 個人フルーレ 8位 渡邊万泉佳 10位 小畑 悠 11位 間 美翔 個人エペ 2位 間 美翔 【全国総体】 女子：団体 出場 間 美翔・渡邊万泉佳・吉村 優里・小畑 悠 女子：個人フルーレ 予選プール出場 間 美翔 個人フルーレ 予選トーナメント2回戦進出 渡邊万泉佳 個人エペ 予選プール出場 間 美翔 【新潟県秋季フェンシング大会】 男子：団体フルーレ 2位 田中 佑樹・服部 叶貴・永野 陽大・諸橋 佑星・中野 颯太 団体エペ 2位 田中 佑樹・服部 叶貴・相田 晃成・永野 陽大 個人フルーレ 3位 加賀谷知輝 5位 相田 晃成 個人エペ 2位 相田 晃成 4位 田中 佑樹 6位 永野 陽大 個人サーブル 4位 加賀谷知輝 5位 諸橋 佑星 女子：団体フルーレ 2位 渡邊万泉佳・小畑 悠・吉村 優里・小林 可歩・竹内 日南 団体エペ 1位 渡邊万泉佳・吉村 優里・小畑 悠・竹内 日南・小林 可歩 (北信越新人大会出場) 個人フルーレ 1位 渡邊万泉佳 3位 吉村 優里 5位 小林 可歩 6位 小畑 悠 個人エペ 1位 竹内 日南 2位 渡邊万泉佳 3位 小林 可歩 4位 吉村 優里 個人サーブル 2位 大河内砂恵 3位 貝良塚安音	生物 【日本生物学オリンピック予選】 優秀賞 秋野 僚太 (本選出場) 優良賞 深澤 涼乃 【日本生物学オリンピック本選】 銀賞 秋野 僚太
ボート	【北信越総体】 女子：舵手付きクォドルブル 7位 間 法佳・森 光希・番場未沙生・金子 実徳・山田真悠子	ライフル 【北信越国民体育大会ライフル射撃競技】 3位 上原 果子

片桐朋美 上村顕也 鈴木由貴子 津嶋知美 長谷川隆 圓山敦史 山口久美子 横井巨人 和賀諭 102回H6年 大滝春樹 佐藤邦栄 高橋謙介 長谷川聡 松澤陽子 皆川暁洋 宮崎立子 103回H7年 阿部司 小林聡 小林義雄 佐川桃子 伏見千尋 若林健一 鷲尾英一郎 104回H8年 大谷茂 川端周 齋藤文比古 篠倉千恵 鈴木貴裕 谷川永一郎 田村大介 濱勇 105回H9年 今井あい 遠藤尚史 小松絵理子 田中健一 成澤良 渡邊千絵 106回H10年 齋藤健太郎 107回H11年 阿部剛 関裕子 廣瀬雄一 真柄望 真柄洋平 松岡優子 茂木崇治	108回H12年 井上勉 北畑雄一郎 小見まいこ 109回H13年 遠藤公太 黒沼有紗 坂上悠太 山際章 110回H14年 石崎徹 酒井優理子 由比克憲 111回H15年 齋藤真理 中村峻 堀あい 横井大樹 112回H16年 浦野絵里 倉地広一郎 佐藤朋弥 野々村頼子 吉田丈夫 113回H17年 大塚智 川村望 佐藤あづさ 関本智美 土田純子 長谷川創一 原太一 真壁枝里 松岡功太郎 渡邊綾子 114回H18年 大橋未来子 荻莊珠美 加藤慧子 115回H19年 枝並直樹 大森大貴 北見直子 小山貴之 坂上哲子 長谷川宝史 116回H20年 有松亜美 浅川千恵 久須美智子 佐藤憲明 本間友香理	117回H21年 青木涼馬 今成悠理子 大塚拓 坂上真帆子 118回H22年 会田俊貴 有松真央 高野真行 千代透 宮腰力 119回H23年 笠原映 木村亮太 久須美裕子 島垣朔歩 関谷祐香 中村真衣 山口彩 渡邊緑 120回H24年 高橋杏奈 手塚朱映 外山倫成 水戸部慶彦 三輪矢真人 渡邊広樹 渡邊公則 渡辺優香 121回H25年 相澤有香 柄澤秀親 齋藤愛理 島垣俊理 牧野杏子 122回H26年 生野敬太 押木淳 田中巴実 張替若菜 平松八重子 三輪菜々子 123回H27年 五十嵐将 稲田有花 笠原咲 齋藤壮 124回H28年 相澤知里 雨木綾貴 酒井男太 田中爽	寺井悠 藻谷美月 125回H29年 石川愛里 大野幹典 高橋健 田邊貴大 星野恭佑 渡邊崇弘 126回H30年 五十嵐もも 伊藤伸悟 伊藤壮史 岩谷奈央子 梅沢賢太朗 小川紗季 小野瑞季 川崎茂登 五ノ井悠雅 小林史佳 酒井健 笹川航太 笹川理湖 佐藤悠吾 島田美和 白井大翔 高橋良輔 瀧井結加 竹内天南 竹之内勇人 田中沙樹 田邊裕紀子 戸根綾香 中島萌 中野友貴 畠山貴成 馬場美有 原田純希 本間奈穂 丸田裕花 本山翔大 百武勇人 柳晴彦 山田泰聖 渡邊剛瑠 通信制 4回S37年 大谷孝二 近藤一弥	5回S38年 喜多輝美 星野リエ 6回S39年 高橋富榮 本保銀一 山川春雄 養田太一郎 7回S40年 片原裕子 外山悦子 8回S41年 小林勝代 田辺泰 間島キソ子 松縄清 9回S42年 木村美枝 橘栄子 田巻ミネ 田村清三郎 角田清宣 松澤美知子 10回S43年 吉楽政子 木ノ下健次 佐藤イチ子 佐藤達夫 山田一夫 11回S44年 小林幸子 牧野榮策 山田隆久 12回S45年 岡村清 小野塚操 小林京子 中屋春美 庭山実 平澤信子 三國吟子 吉野久美子 13回S46年 中山雅之 八木清宣 吉沢利子 14回S47年 高橋雅視 宮澤洋子 15回S48年 石川富子 三宮敬	保莉幸子 16回S49年 梅田和恵 小黒恒雄 古川とみ 17回S50年 大橋恒次 水品とい 18回S51年 渋谷治紀 矢部恵三子 19回S52年 勝島テル子 中林巴子 20回S53年 天尾正子 喜多村勇夫 小島英二 嶋田博 清野喜美男 宮尾正一 21回S54年 清野義昭 22回S55年 佐藤マツイ 高橋雪枝 種村昭久 種村恵美子 田村和男 戸嶋孝 外山トミエ 藤田栄六 藤田キミエ 松原俊昭 丸山秋一 三原仁美 向川幸子 山本ヤヨイ 23回S56年 青木和枝 五十嵐タツミ 太田光雄 片桐登 24回S57年 高松昭夫 26回S59年 近藤英子 清田輝雄 山田春代 27回S60年 阿部幸一 安倍武男	石川孝子 岡田忠雄 永野正人 28回S61年 長谷川勇 星野きよ子 渡辺久子 29回S62年 陽田ナツ子 30回S63年 長濱隆道 増田朋子 31回H1年 石井幸代 金子真佳 金子よう 菊地正明 関テル子 滝澤公晴 宮崎圭央 32回H2年 神田光子 菊地光子 山賀利夫 33回H3年 蕪木フミ 桑原恒夫 駒沢聡 丸田賢一 渡辺作司 渡辺むつ子 34回H4年 安達惇子 斉藤幸子 関川亮子 森岡一雄 米山賢治 35回H5年 伊藤歌余子 小林直樹 福田知恵子 36回H6年 荒木アキ子 椎谷郁子 37回H7年 神林早苗 笹川薫 38回H8年 柿崎フミ子 成田二郎 古瀬勝人	39回H9年 小林弘 小林優喜江 樋口節子 40回H10年 曾我昭仁 永原正朋 42回H12年 畔柳圭 石田美砂子 岡田武雄 金野真紅 中島和也 永田裕子 星野レン子 44回H14年 石原マサ子 近雄介 45回H15年 大杉貴美枝 46回H16年 大崎シズ 小柳トミエ 吉沢優美 47回H17年 小森雅且
--	--	---	--	---	---	--	---



「青山同窓会報」は、
同窓会ホームページに
掲載されています。

同期会の開催に合わせ、是非、会費納入者の拡大にご協力下さい。早めに、開催の期日を連絡頂ければ、事務局で、同窓会費納入のお願い・振込用紙としてA4サイズが入る角2の同窓会封筒を人数分用意しておきます。よろしく願います。

同期会を開催される期の幹事の方へお願い

同期会の開催に合わせ、是非、会費納入者の拡大にご協力下さい。早めに、開催の期日を連絡頂ければ、事務局で、同窓会費納入のお願い・振込用紙としてA4サイズが入る角2の同窓会封筒を人数分用意しておきます。よろしく願います。

原稿の字数は800字から1,000字の間で書いて下さるようお願いいたします。1,000字以上ですと紙面の関係で載せられなくなることがありますのでよろしく願います。原稿については掲載時期や紙面制限の関係で、字句文章の修正、割愛をさせていただくことがあります。

会報へ寄稿される方へ

表紙題字：小川 和恵(101回)
イラスト：池主 憲夫(68回)

渡 辺 宣 昭 83回 S50年	仁多見 俊 夫 根 岸 秀 行 野 呂 咲 人 橋 本 多 佳 平 澤 正 行 藤 崎 直 二 古 川 靖 子 本 間 憲 祐 松 本 章 博 水 原 内 正 宮 上 淳 子 最 森 井 三 山 際 和 明 山 口 虎 彦 横 山 修 篤 吉 澤 德 治 吉 田 友 章 吉 田 信 男 吉 水 敦 忍 若 杉 圭 三 渡 邊 友 昭 渡 邊 正 昭	齋 藤 忠 志 坂 井 朋 子 坂 井 玲 子 筈 川 亨 裕 洪 谷 義 晴 白 倉 雅 建 高 橋 裕 之 高 山 有 子 田 沢 玲 子 豊 岡 健 一 浪 花 口 敬 野 平 松 一 藤 岡 近 子 星 野 紹 英 本 間 新 哉 丸 山 正 行 三 浦 仁 修 皆 川 清 也 宮 崎 哲 夫 森 岡 比 呂 山 口 義 弘 山 崎 元 彦 行 田 充	高 野 宏 一 高 野 靖 彦 竹 内 一 清 田 中 克 己 玉 井 敦 子 筒 井 秋 夫 戸 枝 良 生 遠 山 知 令 登 坂 和 男 富 山 泰 曜 長 野 一 衛 庭 野 芳 樹 野 口 健 太 長 谷 川 亮 藤 石 和 宏 逸 見 正 幸 堀 川 照 幸 本 三 浦 明 宮 崎 治 子 渡 邊 毅	荒 川 一 成 五十嵐 昌 聰 伊 藤 量 智 伊 藤 上 博 井 西 藤 聰 今 遠 大 荻 奥 村 克 誠 押 木 洋 彦 小 原 弘 志 加 藤 真 理 神 田 一 浩 駒 村 美 佐 齋 藤 光 雄 清 水 忠 明 須 田 剛 Saltzgaber 純 高 橋 克 彦 高 橋 直 樹 田 崎 新 規 土 屋 真 秀 長 場 浩 志 服 部 恭 弘 林 本 多 剛 本 松 幸 治 松 本 俊 輔 宮 田 佳 吾 宮 本 仲 毅 山 岸 浩 吉	渡 辺 德 昭 渡 邊 治 夫 89回 S56年	相 場 恵 美 飯 田 晴 美 石 栗 健 一 市 原 綾 子 伊 藤 孝 憲 今 井 あかね 岩 野 尚 子 岡 嶋 薫 神 林 正 浩 倉 田 裕 道 佐々木 雅 彦 田 村 雅 美 継 田 浩 一 椿 原 真 与 通 所 直 樹 中 山 望 一 長谷川 雄 浩 ハドリ一 利 樹 星 井 利 志 山 上 浩 昭 渡 邊 克 彦 五百川 元 浩 池 見 鉄 夫 石 岩 谷 淳 加 藤 公 則 神 田 武 宏 儀 同 俊 弘 古 齋 藤 浩 子 齋 藤 結 花 佐 藤 雄 一 白 須 洋 二 隅 木 信 利 関 根 敏 裕 袖 山 裕 一 高 橋 美 和 田 邊 文 子 塚 田 裕 亨 土 屋 栄 子 富 山 泰 洋 中 村 正 史 榎 本 北 靖 宮 腰 貴 和 村 上 恭 肇 横 井 義 彦	五百川 裕 健 市 川 伸 二 上 野 充 一郎 長 田 慎 一 梶 聖 一 小 竹 裕 之 後 藤 寛 志 寺 井 弥 生 野 沢 雅 行 張 替 涼 子 藤 井 直 人 本 間 正 隆 三 輪 泉 弓 横 堀 真 滋 渡 部 美 紀	92回 S59年	上 野 洋 子 大 野 潮 子 小野島 あゆみ 金 井 利 郎 河 内 康 志 菊 池 芳 裕 北 尾 彰 朗 木 村 彰 彰 小 林 玲 路 小 見 善 龍 近 藤 美 保 清 野 貴 子 中 島 晋 一 畑 野 光 俊 前 田 まさみ	93回 S60年	五十嵐 涉 滋 行 形 和 英 石 山 友 昌 井 東 琢 子 内 坪 謙 一 小 沢 真 奈 金 工 藤 哲 齋 藤 義 之 佐 藤 昌 子 橋 詰 政 之 佐 伯 千 佐 森 克 也	94回 S61年	阿 部 素 子 今 井 卓 聰 小 柳 元 幸 佐 藤 孝 里 佐 藤 健 一 菲 沢 裕 人 畑 野 直 孝 濱 多 輪 興 本 柳 本 和 貴	遊 佐 浩 子 渡 邊 康 明 95回 S62年	浅 岡 俊 宏 浅 妻 信 司 有 田 里 実 池 田 知 之 上 杉 茂 樹 関 川 茂 子 武 村 要 介 町 田 一 越	96回 S63年	石 賀 洋 介 江 部 則 行 小 栗 友 美 鈴 木 周 好 中 島 正 薰 橋 本 恒 平 浜 田 正 子 山 岸 義 晃	97回 H 1 年	遠 藤 啓 一 桑 野 一 美 齋 藤 信 義 関 博 司 名 塚 武 史 堀 越 康 裕 矢 部 正 浩 渡 邊 信 幸	98回 H 2 年	鈴 木 広 樹 瀬 下 学 太 高 橋 信 友 敦 井 一 隆 渡 邊 隆 興	99回 H 3 年	稲 又 晋 矢 遠 藤 剛 史 鈴 木 信 行 水 澤 泉	100回 H 4 年	安 藤 栄 吾 岩 城 孝 和 門 田 美 保 木ノ下 智 弘 小 林 一 大 高 橋 克 郎 中 村 竹 志 丹 羽 恵 子 沼 濱 ひとみ 森 岡 聰 美 吉 原 貴 之 若 槻 良 宏	101回 H 5 年	阿 部 雅 也 荒 井 康 弘 今 井 敦 子 白 田 淑 江 小 川 和 恵
---------------------	--	---	--	---	--------------------------------	---	--	----------	---	----------	--	----------	---	--------------------------------	--	----------	--	-----------	--	-----------	---	-----------	--	------------	--	------------	---

子隆子春義子晃幸夫彰しおり茂孝彦隆苗育則子極郎介隆彦明代成明孝仁行敏裕朗心裕郎男史子オールの子幸人久祐子一隆史敏子樹夫樹子史一	奈佳祥一朋嘉孝由紀茂立早雅直稔広泰佳弘正長吉史秀昭二建隆敦勝彰正博誠浩正一とも茂利茂小夜とも健	本間澤上村下部美泉島小林林林林針井亦藤藤上川木藤藤田里田橋代中黒野田井井崎田谷浦園田島黒本後崎下本辺	小野風唐川木日下楠小小
---	---	--	---

E-mail niigata_aoyama@yahoo.co.jp

浅野康一	二階堂修	小林脩	岩野一郎	今井泰博	味方繁夫	渡部康	若松昌弘
穴澤祐哉	西村信	近藤恭一	植木昭彦	薄田並義	阿部隆智	青木彰	渡邊泰彦
阿部正	西村昌	近藤邦男	大堀隆夫	江村聖治	井田惠子	安達賢司	青木利祐
五十嵐信一郎	庭山口	坂井俊一	小栗政成	小川順一郎	石田昭一	安孫子俊明	阿部正昭
五十嵐房治男	長谷川潤	佐藤明雄	笠原成美	乙川聰一	伊藤紀朗	阿部尚武	飯島信輔
池川庄吾	長谷川正勝	佐藤幸治	風間美啓	風間孝靖	大野敏昭	五十嵐幸正	伊海田英夫
石城正利男	平原正男	佐藤唯司	金合英次	加藤幸三	岡崎トモエ	石橋正輝	石本隆太郎
泉井吉三郎	藤井尚洋	鈴木木喬弘	川崎純夫	金子兼義	小川紀男	石磯修治	居今井昭雄
市川瑞夫	保井由紀	高橋俊之助	神林恒剛	金子義範	奥村秀勝	岡庭ミイ	岩内山康昭一郎
伊藤介雄	星田良二	高橋幸雄	北村孝一	熊谷正俊	小片山忠一	奥河西桐健	大大谷勝美
伊井幸雄	牧野英一	田代川堅一郎	小林茂巨	小泉秀啓	川崎春興	加藤達敦	大大森尚子
内田宏子	松岡京欣	田中元彦	小湊藤昭	小林裕宏	神田場美智子	加藤達子	大大岡武雅
江口律秀男	松本山喜代次	田村久康	近藤敬弘	小藤和興	岸北林幸	加藤村泰	小黒富原
大坂道雄	三浦義満	田村弘	佐藤政輝	鈴木滋	小斉佐塩	北草野進	小鍵笠片
大岡田忠平	南村山田	坪中林輝	三林正三	鈴木本島	塩清水井	小駒近今	小黒小島
小柏原義博	山根英弘	成庭畑廣	鈴須関田	高橋元富	菅杉関瀬	齋藤佐	小後齋藤
加野村一満	山本潤暢	畑澤星	田玉中	中野波	高橋高	佐鈴関	小齋藤
櫛谷雄三	山本暢介	本間義章	中野波	二根津	高橋高	関川	小齋藤
栗田俊子	油吉渡	本間義章	中野波	二根津	高橋高	関川	小齋藤
小林道彦	青木信	相田和	中野波	二根津	高橋高	関川	小齋藤
杉直彦	木浦宏	浅安	中野波	二根津	高橋高	関川	小齋藤
相馬研三	石植村	安荒	中野波	二根津	高橋高	関川	小齋藤
高木知義	内海公一	安荒	中野波	二根津	高橋高	関川	小齋藤
高橋昌彦	大江太	安荒	中野波	二根津	高橋高	関川	小齋藤
瀧澤正三	小籠島	安荒	中野波	二根津	高橋高	関川	小齋藤
瀧澤山行	風間治	安荒	中野波	二根津	高橋高	関川	小齋藤
竹山友浩	風間治	安荒	中野波	二根津	高橋高	関川	小齋藤
團原浩信	風間治	安荒	中野波	二根津	高橋高	関川	小齋藤
土屋信雅	風間治	安荒	中野波	二根津	高橋高	関川	小齋藤
寺島雅一	風間治	安荒	中野波	二根津	高橋高	関川	小齋藤
戸井村輝	風間治	安荒	中野波	二根津	高橋高	関川	小齋藤
中村道	風間治	安荒	中野波	二根津	高橋高	関川	小齋藤
中村道	風間治	安荒	中野波	二根津	高橋高	関川	小齋藤
長津榮佐子	風間治	安荒	中野波	二根津	高橋高	関川	小齋藤



平成 30 年度 (H 30. 4. 1 ~ H 31. 3. 31)

青山同窓会会費納入者

4 月より 9 月末まで納入いただいた方を掲載しております。10 月以降に納入された方は次号に掲載いたします。

会費を納入していただきますと「青山同窓会報」を毎月お届けいたします。申し訳ありませんが、納入のない方には「会報」をお送りすることができなくなってしまいます。本年度未納の方は是非 3 月までにお振り込みくださいますようお願い申し上げます。

2019 年度会費納入のお願いと振込用紙は、2019 年度総会のご案内と一緒にご郵送いたします。全日制と通信制を併わせ、振替口座を統一しましたのでご注意ください。

振込先を下記に掲載しております。切り取ってお持ちいただけます。

全日制	齋藤泰五郎	星井正春	木村善章
41回S9年	佐藤秀夫	前田利雄	小林一男
金子清	佐藤陽二	宮尾益敏	近藤寅彦
43回S11年	澤田義郎	武藤輝一	近藤信夫
笹川謙録	坪谷誠	山崎賢二	坂井熙一
44回S12年	廣川勲	山田甚平	佐藤俊彦
高野伸三	廣川昭二	吉澤有介	佐藤弘
宮川一郎	山崎利兵衛	吉原賢二	里村専精
45回S13年	亘隆	56回S23年	白井博
笠原義春	53回S20年	赤坂長弥	曾我浩
綿井兵衛	荒木典雄	網干道雄	高田龍介
46回S14年	飯田洋一	荒川昭寿	大門啓治
鍵富春雄	上杉純一	飯島昌弥	中川弘重
47回S15年	大倉憲吾	今城信敬	波田野松
岩谷又武	小林松郎	上田宏	早川哲夫
齋藤良介	小白井男	江口直禎	福島惣吉
志賀武司	高松和丸	大竹多計二	藤崎昭司
48回S16年	田崎国夫	大沼淳	保倉庄二
鈴木男	玉木將二	加藤勝則	前田三郎
49回S17年	長道雄	上村幹雄	宮川幸司
弘中博元	野口国典	清野誠二	和田憲雄
八木敦	野口俊作	小島直孝	59回S26年
50回S18年	野田栄次郎	坂井恒雄	相川義信
池田成徳	堀時男	高塚勝吉	青木久馬
大川正彦	正木宏	高橋孝	旭祐善
勝見秀也	宮路陽一	田中潔	安食裕夫
上村光司	諸橋莞治	早川昭彦	新川康一
渡辺欣次	54回S21年	藤井泰剛	五十嵐瑞夫
51回S19年	齋藤雅彦	目黒剛二	伊藤正夫
今泉笑顔	佐藤壮一	山崎洪二	岡田久夫
大関雄策	55回S22年	横山芳馨	小熊英一
大山龍蔵	青山昭郎	若槻馨	小柳佳一郎
岡本耕治	新井勝龍	57回S24年	笠井駿右
小野芳一	石本林三	笹川孝作	勝見徳壽
金巻保男	伊藤健二	58回S25年	河合忠三
北村茂一	今井兼智	青柳廣士	神田悌晴
斉藤素一	今湊良敬	赤塚行司	菊池孝一
杉山久雄	上杉伸二	浅田秀雄	清野孝一
長谷川直大	片岡啓一郎	阿部隆豊	倉品克明
藤井英克	金子隆弘	安倍豊	小池和男
真島建次	小島健一	内山準之助	小池圭次
真野量次	庄司元一	大関允良	茂泉喜彦
52回S20年	鈴木俊雄	大山芳郎	
阿部秋由	早福卓	片桐欣哉	
安藤一郎	高橋安剛	金沢栄二	
岡崎昭兒	常木剛	神田勉	
岸田二郎	富所壽男		
小嶋嘉彦			

品田茂博	濱田達三	高浪洋	佐藤信	怡夫
鈴木誠一	早川貞夫	高野恒行	佐藤白井	藤民司
高橋晴正	平田大達	滝沢中宣	杉内木勉	愛勉
高橋正昇	廣川本剛	徳田晋也	鈴木哲夫	健夫
田中耀昇	星野一浩	中野龍雄	曾我健	国臣
岡岡健夫	本間哲雄	中村正春	立川昭夫	昭夫
塚田俊郎	水野健吾	長沼雄彦	田中毅	毅
中野文郎	矢崎芳直	庭山熙徹	田村貫次郎	子啓
長島敏雄	長橋敏喜	野谷川義明	外山啓	洋吉
長橋敏喜	納谷諭之	浜口福道	中川洋二	義一
西脇康之	早山康之	藤井真雄	中村義	一梓
藤由滋久	堀田兼好	本間淑人	永井野	丹羽
宮田一篤	山田陽吾	丸山恒了	長谷川	慎郎
吉田初男	渡辺祐吉	阿部友憲	村岡公弥	平田幸男
56回S27年	五十嵐邦一	池田元嘉	村山昌三	矢田昌哉
伊狩三喜男	池浦厚司	石井秀治	石井隆三	和田昭子
池田和之	石川紀一郎	石黒忠士	江村豊郎	太田恭一郎
石川忠士	市川文雅	入山雅一	勝沼榮一	加藤治郎
内山真英	大田嘉志	岡村秋夏	木村光俊	草間利幸
大橋嘉志	岡村功真	笠原岡尚	倉茂周典	小出秀司
熊谷光夫	小島洋吉	小林亨	齋藤繁夫	佐久間
小林功夫	小林邦博	小杉剛	須貝和明	関根理
齊藤英明	高城榮和	高田正浩	戸田浩一	徳富山
高橋明郎	田村弘一	中田信夫	中山弘	成田慎行
橋本秀三	長谷川秀			

青山同窓会 年会費

1口 1,000 円。

できるだけ2口以上でお願いいたします。

振込先

【郵便振替口座】

00650 - 7 - 4455 青山同窓会

【第四銀行】(手数料はご負担をお願いします)

白山支店 普通口座

5008069 青山同窓会年会費